

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	宗務行政の推進		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年度・なし		担当課室	文化部宗務課		宗務課長 萬谷宏之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-4 文化芸術振興のための基盤の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	宗教法人法第14条 文部科学省設置法 第4条第89号等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	宗教法人法に基づく宗教法人の規則認証等行政事務処理、宗教に関する情報資料の収集や宗教法人の適正な管理運営に資する事業を通じて、円滑な宗務行政の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	宗教法人の規則認証等経常的に必要な行政事務処理、不活動宗教法人の整理促進のための対策、宗教事情等に関する調査及び宗教関係統計等資料の収集整理のほか、宗教法人の管理運営に係る資料の作成、宗教法人等に対する実務研修会等宗教法人の適正な管理運営に資する事業を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	64	56	44	44	43	
		繰越し等	-	-	△ 0	-	-	
		計	64	56	44	44	43	
	執行額	42	39	35	-	-		
	執行率 (%)	65.1%	69.5%	79.3%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	宗教法人実務研修会受講者の満足度(「とても有意義であった」「有意義であった」と回答する割合)		成果実績	%	88	87	86	90
			達成度	%	98	97	96	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	認証事務実施件数		活動実績 (当初見込み)	38	51	38	-	
単位当たりコスト	認証事務実施件数 33,900(円/件数)		算出根拠	当該事業の予算額を認証した件数で除して件数当たりの所要額を算出した。 予算額は宗務行政事務処理の内数である認証・事務指導(1,290千円)とした。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3百万円	3百万円					
	職員旅費	5百万円	5百万円					
	委員等旅費	4百万円	3百万円					
	庁費	25百万円	24百万円					
	文化芸術振興委託費	7百万円	7百万円					
	計	44百万円	43百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	宗教法人法に基づく認証事務等は国と地方(各都道府県)が役割分担して行っており、民間等による代替はできない。また、宗務行政の推進のための唯一の事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	資金の支出に当たっては、原則として、競争入札、見積り合わせを行うことにより、競争性の確保に努めている。認証事務は所轄庁である国の義務行為であること、信教の自由は受益者負担で制限することはできないため、当該事項は評価対象外とする。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	単位当たりコストは平成23年度の水準を下回っている。資金は文部科学省から委託者に支出され、委託者が使用することから、中間段階は存在せず、評価することができない。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	費目・使途については、契約時、清算時に精査している。不要額の生じた理由は、不活動宗教法人の整理促進のため、地方自治体へ支出委任を行ったが、結果的に支出額が少なくなったことによるものである。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	認証事務は所轄庁のみが行える業務であり、他の手段を講じることはできない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	研修会等の事業を予定どおり実施している。各種調査事業の成果は、認証業務等に役立っている。宗教年鑑は宗教法人等に関する唯一の統計資料であり、内容をホームページで公開するとともに、市販している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	宗教法人法及び文部科学省設置法で担当部署が明確に規定されており、他の事業と類似性もないことから、役割分担の是非を評価することができない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>宗教法人の規則の変更などの認証並びに宗教に関する情報資料の収集及び宗教団体との連絡を着実にし、その成果を上げた。計画的な業務執行に努めたことにより、平成21年度より毎年、執行率は向上しており、平成24年度は前年度に比べて10%程度改善した。</p>					
外部有識者の所見						
<p>本事業においては、宗教法人法に基づく宗教法人の規則認証等が適正に行われるなど、円滑な宗務行政の推進に役立つ成果が上がっていると認められる。不用額が生じている不活動宗教法人の整理促進のための事業は、不用額が生じた要因を分析し、事業内容の見直しを検討すべきである。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、円滑な宗務行政を推進するための認証事務、資料作成・収集、研修会や調査に要するものであり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業は例年不用を生じており、平成24年度当初予算において既定予算の縮減を行い、執行率の改善も見受けられるところであるが、未だ十分とは認められないため、積算の見直しや執行方法の工夫など更なる改善に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本事業のうち、不活動宗教法人対策推進事業について、従来は事業を実施する地方公共団体へ、実施前に所要予定額の総額を支出委任していたところ。平成25年度より、実施前には所用予定額の一部を支出委任し、事業の進捗状況に応じて、追加の支出委任を行うこととした。そのため、執行状況に応じて、他の地方公共団体に対して新たに事業を依頼することが可能となった。 また、役務費等の積算の見直しを行い、概算要求額において▲2百万円反映した。</p>					
備考						
<p>宗務行政について理解が得られるよう文化庁内HPIに情報を掲載している。 http://www.bunka.go.jp/shukyouhoujin/index.html</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0499	平成23年	0423	平成24年	0447

※平成24年度実績を記入。

文化庁
35百万円

諸謝金 2百万円
職員旅費 4百万円
委員等旅費 2百万円
庁費 13百万円

を含む

〔宗務行政の推進〕

※庁費は雑役務費、消耗品の購入等であり、1件1百万円以上のものはない

【一般競争・委託】

A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
4百万円

宗教法人等の運営に係る調査業務の委託

【企画競争・請負】

B. 治田会計事務所
3百万円

宗教法人実務研修会における講義等業務の委託

【随意契約・製造請負】

C. 株式会社ぎょうせい
3百万円

宗教年鑑の印刷

【随意契約・委託】

D. 株式会社こすもすねっと
0.9百万円

宗教関連情報の収集と分析に関する調査業務委託

【随意契約・委託】

E. ヤマノ印刷株式会社
0.9百万円

都道府県所轄宗教法人登記情報等の電子化整備を委託

【随意契約・委託】

F. アシストマイクロ株式会社
0.9百万円

宗教法人審議会関係資料の電子化業務を委託

【支出委任】

G. 京都府
0.2百万円

不活動宗教法人の整理促進を依頼

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			E.ヤマノ印刷株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査、資料収集、報告書取りまとめ、	3	委託費	データ化、データの統合業務	0.9
事業費	原稿謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、	0.6			
一般管理費	-	0.4			
計		4	計		0.9
B.治田会計事務所			F.アシストマイクロ株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	講義、テキスト校正・作成・編集	2	委託費	資料の電子化業務	0.9
事業費	現地講師講義謝金、旅費、消耗品費、雑役務費	1			
一般管理費	-	0.3			
計		3	計		0.9
C.株式会社ぎょうせい			G.京都府		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷費	宗教年鑑の印刷	3	諸謝金	対策会議出席謝金、実態調査研修会謝金	0.07
			委員等旅費	対策会議出席旅費、実態調査旅費、実態調査研修会旅費	0.03
			庁費	借損料、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、雑役務費	0.12
計		3	計		0.2
D.株式会社こすもすねっと			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	資料収集、報告書取りまとめ、	0.2			
事業費	データ抽出、消耗品費、	0.7			
一般管理費	-	0.07			
計		0.97	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	宗教法人等の運営に係る調査業務		4	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	治田会計事務所	宗教法人実務研修会(会計・税務に関すること)実施		3	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	株式会社ぎょうせい	宗教年鑑印刷		3	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社こすもすねっと	宗教関連情報の収集と分析に関する調査業務を委託	0.9		—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	ヤマノ印刷株式会社	都道府県所轄宗教法人登記情報等の電子化整備	0.9		随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	アシストマイクロ株式会社	宗教法人審議会関係資料の電子化業務	0.9		随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	京都府	不活動宗教法人対策推進事業	0.2		随意契約	—
2	東京都	不活動宗教法人対策推進事業	0.1		随意契約	—